

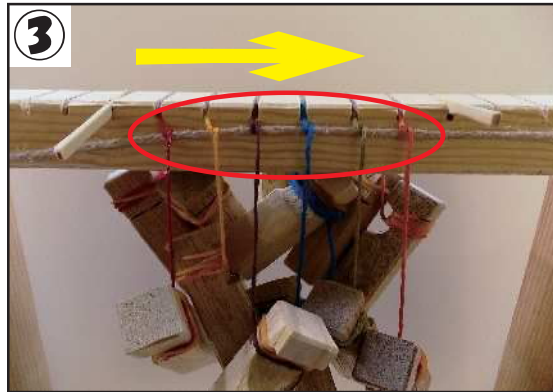
古代の布つくり 作業手順



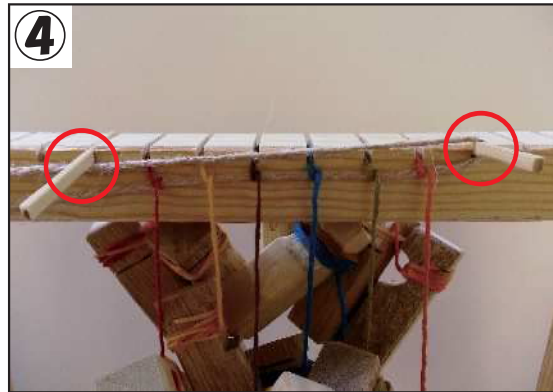
① 6本のタテ糸を好きな順番で編布機あんぎんきにかける。



② ヨコ糸を編布機右側の溝みぞにかける。



③ タテ糸を左から順に、ヨコ糸からに絡めていく。



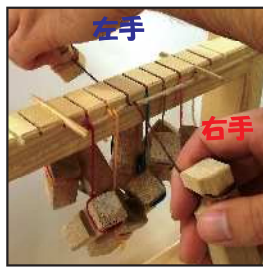
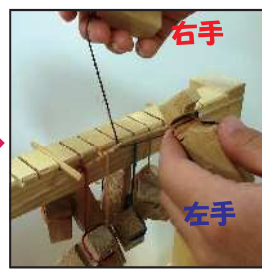
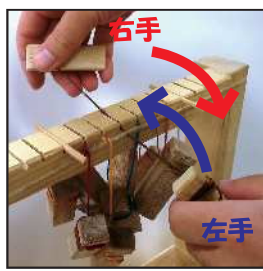
④ ヨコ糸を右の串くしに引っかけてから、左の串くしの下へと通し、編布機左側の溝みぞにかける。

注意!

「右手で奥のおもり、左手で手前のおもりを持つ」というように両手の役割分担を決定しておくこと。

編みおわるまで、この役割は変えないように!!

例) **右手**: 奥から手前へ
左手: 手前から奥へ



こうして工程⑤と⑥も同じ役割で!

5



タテ糸を右から順に、ヨコ糸に絡めていく。

6



右の串を編布機からはずして、ヨコ糸を取る。

7



ヨコ糸を左の串に引っかけてから、右の串の下へと通し、編布機右側の溝にかける。

8

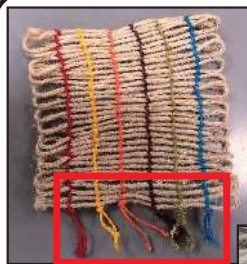


タテ糸を左から順に、ヨコ糸に絡めていく。

9



左の串を編布機からはずして、ヨコ糸を取る。



最後に、編布機からコースターを外し、タテ糸がほどけないように、それぞれ固結びをして、糸を切って完成！！

あとは、④～⑨
のくり返し